



# ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和6年12月3日  
文責：校長 江上 知男



主体的な朝自習(5年)

## 「自分で学ぶ力」を高めたい！

本校では、「自学コンテスト」を実施しています。自学とは「家庭で行う自主学習」の略で、第2回目の期間が12月2日～6日…すなわち今週です。

学校では必要に応じて宿題を出しますが、それは、学校で学習したことを復習したり、これから学習することについて予習したりすることで、理解度が高まったり、学習習慣が身に付いたりするからです。

しかし、宿題だけでは、「自ら考え、学ぶ力」は十分に身に付きません。自学は、宿題とは違い自分で学習する内容を決めて取り組むものです。「自分に必要だと思ったこと、興味があることなどを、自由に学習できる点」が大きなメリットです。「学ぼうとする積極的な姿勢」を身に付けることは、子どもたちの成長に欠かせないものです。担任の先生方に話を聞くと、「自学の内容は、個人によって大きく違う。みんなが高まるために、お互いのノートを見て学び合うことが大切」とのこと。コンテストを行う意味は、ここにあると思います。

実際に意欲的に取り組んでいる6年生に話を聞くと、「やり始めたきっかけは『宿題が自学』だったが、やってみると理解が進んだり、苦手な内容の解決につながったりする」「自分がやりたい内容や得意な内容ができる」「色使いや配置を工夫するととても見やすいノートになる」等々を話してくれました。そして、一様に「ノートをまとめていくことは楽しい！」と言ってくれました。

校長室前にある「第1回目コンテスト」の掲示を見ると、発達段階の差はありますが、どの学年も「やらされている感」が見えない、個々の工夫がある「自分なりのノート」だと思いました。

…とはいえ、「今日は何しよう」から始まる自主学習…。最初は子どもたちにとって苦痛かも知れませんが、「何でもいから…」って言われても困りますよね。でも、友達にたずねたり、お父さん・お母さんにアドバイスを受けて、たまにはネットを参考にしたりして毎日続けていると、「これだけ続けられた」という積み重ねの喜びが出てきます。そして、「やらされているのではなく自分から進んで学んで結果が出た」という達成する楽しさを感じられればしめたもの…習慣化成功です。

社会に出ると、基本的に仕事に必要な知識や技能は自主的に学ぶことを求められます。小学校で少しでも「自分で学ぶ体験」が積み重ねられるよう、できることから始めてみましょう。

## 道路工事のボランティア？

毎朝横断歩道に立ってくださる地域の方から、「学校のフェンス沿いに道路の轍があり、雨の日に子どもがはね水で濡れる。ボランティアで工事をします」という申し出がありました。「工事って？」と思っていたら、12月2日(月)に作業をしてくださいました。施行してくださったのは宇城舗装という会社で、木下建設、中内土木、杉本建設、三洲建設、オカザキという5つの会社が協力してくださったそうです。



工事の様子

「道路工事のボランティア」とは聞いたこともありませんが、おかげで安心・安全な通学路になりました。それにしても、作業員の方々が手際のいいこと…！4～5時間で終わってしまいました。「さすがプロだなあ」と感心しました。本当にありがとうございました。